IT・ソフトウエア業界　～世界最大のネット大国、IoT でも世界をリード～

◆市場動向　～IT 業界は 2 ケタ成長が続く、次世代 IT 市場も活性化～

17 年の業界規模：

売上高：5.5 兆元（前年比 14%増）、税前利益：7020 億元（同 16%増）、ネットユーザー数（17 年末）：7.7 億人（ネット普及率：56%）

世界最大のネット利用者数を抱える中国は 17 年も社会の各方面で IT 化が進展。スマホが市民生活の重要インフラとして完全に定着し、スマホ決済、シェアサイクルを含む様々な IT サービスの開発・利用が進んだ。企業・政府も IT 投資を増やし、起業も活発化。IT 業界全体では売上高、利益の 2 ケタ成長が続いた。E コマースやネット金融が引き続き高い伸びを示し、ビッグデータ、クラウド、「IoT」（モノのインターネット）、AI（人工知能）、フィンテックを含む次世代 IT 市場も活性化した。18 年も業界全体で 25%増収（1-4 月期）に加速するなど、好調が続く。中国は最新 IT 技術の普及や豊富な IT 人材・開発・資金力、関連市場の裾野の広さなどを強みに、すでに世界の「IoT」化をリードする存在に。5G（第五世代移動通信）サービスの開始や高機能スマホの普及などを追い風に、IT 業界の成長は続こう。

◆業界の特徴　～民営企業が主役、スマホを通じて多様なサービスを提供～

生産・販売面：

IT 業界は民営・中小が大半を占め、4 万以上の企業が成長市場で激しい競争を繰り広げている。主に IT 技術サービス、ソフト開発、組込式ソフト・システムに分けられる。製品・サービスの技術革新が速く、業界の新陳代謝は激しい。企業の IT システム構築に加え、個人向けは E コマース、ネット金融・決済、SNS、各種コンテンツのネット配信など幅広く、スマホが圧倒的な接続手段となっている。IT と各産業の融合、IoT の流れを見据え、IT 大手による各産業への進出が目立つ。

国際面：

中国のソフト輸出額は 538 億米ドル程と、国内市場に比べれば規模は小さい。また、規制の壁が立ち塞がり、外資系 IT 大手の中国進出も限定的。対照的に中国企業による海外投資は活発で、多くの IT 企業が米国上場を通じて巨額のマネーを調達し、技術・市場の獲得を目的に投資を増やしている。

政策面：

IoT 社会の実現や成長分野である AI の発展などに向け、政府は長期計画を策定。IoT の産業規模を 15 年の 7500 億元から 20 年までに 1.5 兆元に増やす目標だ。中核技術の国産化に向けた支援や、国家重要プロジェクトの実施、産学官の連携強化、リーディング企業の育成などを進める。

◆主要企業、主な取扱銘柄　～「BAT」を中核とする民営企業が活躍～

IT 業界は民営・新興企業が多く、大手は米国、香港・本土などに上場。なかでも「BAT」と呼ばれるアリババグループ（BABA）、テンセント（00700）、百度（BIDU）の 3 社は別格の存在だ。「BAT」は 17 年も既存事業の高い収益力を強みに、IoT や AI、ビッグデータを含む成長分野に巨額の投資を実施。このうちゲーム・SNS 最大手のテンセントは中国人必須のスマホアプリ「WeChat」を最大限に活用してゲーム、広告、配信・決済収入を伸ばし、17.12 期、18.1-3 月期も好業績が続いた。アリババ系列の上場企業には医療 IT 分野の阿里健康（00241）とフィンテックに強い恒生電子（600570）などがあり、両上場企業とも 17 年は大幅増収を達成したが、純損益は明暗が分かれた。
企業・政府を主要顧客とする IT 大手をみると、多くの優良企業を顧客に持つ用友ネット（600588）、ERP 大手の金蝶国際（00268）や政府・金融機関向けに強い中国軟件国際（00354）、多くの医療機関を

顧客に持つ東華軟件（002065）、スマートシティ分野が得意の神州控股（00861）などが有名で、いずれも17.12期は増収を達成した。産学連携が進む中国は大学発のIT大手も多い。清華大学系は紫光（000938）がクラウド事業を強みに好業績となったものの、同方（600100）は減収益に後退した。中国科学技術大学発の科大訊飛（002230）はAI関連の高い技術力を強みに、大幅増収を継続。
一方、4億人以上が利用するゲーム市場は最大手のテンセントがヒット作にも恵まれ、さらなる規模拡大に成功。ほかにシンガポールに本拠を置くIGG（00799）、RPGに強い巨人網絡（002508）、テンセントが出資する金山軟件（03888）などの上場大手が存在し、スマホ向けが成長を牽引した。ゲーム以外の民営大手をみると、スマホ用写真補正アプリの美図公司（01357）や、IoV（自動車のネット化）関連の需要を取り組むデジタル地図最大手の四維図新（002405）などが有名。急成長中のEコマースはアリババ、京東商城（JD）の二大企業を中核に、米国のECサイトを経営する聯絡互動（002280）、越境EC輸出に注力する跨境通宝（002640）などがある。
なお、政府系の大手も複数存在。浪潮電子信息（000977）はサーバー出荷台数で世界3位に入り、業績も好調だった。中国民航信息網絡（00696）は航空IT分野の最大手だが、17年はコスト増で減益に。一方、ソフト会社の衛士通（002268）は旺盛な情報セキュリティ需要を背景に、増収益を確保した。

主な取扱銘柄：

コード	社名	分類	通貨	売上高 増収率	純利益 増益率	時価総額	コメント
00241	阿里健康	香港その他	香港ドル	2,443 +414.2	▲107 赤字	83,676	中国ネット大手「アリババ・グループ」傘下の医療IT会社。医療・ヘルスケア関連の各種ITサービスを提供する。アリババの通販サイト「天猫」の健康食品事業や、医薬品の小売事業なども展開。AI技術を活用した医療システムなども開発する。成長戦略に伴うコスト増で17年も赤字を継続。
00268	金蝶国際	香港その他	元	2,303 +23.7	310 +7.6	28,511	深セン市の民営企業で、新興企業向けERPソフト開発の国内最大手。クラウドとEコマースを成長分野し、米アマゾンや京東商城などと提携関係を構築。企業向けSaaSクラウドサービスの分野でも国内屈指のシェアを持つ。同社運営の「友商網」は国内大手のオンラインのERPプラットフォーム。
00354	中国軟件国際	香港その他	元	9,244 +36.3	566 +27.9	16,960	民営のIT大手。政府機関、金融機関、通信会社などを対象に、各種ITソリューションを展開。政府向けで国内上位3位、銀行向けで上位5位に入る。テンセント、アリババ、百度などと提携関係を構築。海外市場の開拓も重視し、日本にも拠点を構える。
00696	中国民航信息網絡	H株	元	6,734 +8.2	2,249 ▲7.1	69,644	政府系のIT大手。航空関連のシステムでは国内最大手に位置し、航空業界の発展による恩恵を直接享受できる。主要顧客の三大航空会社は大株主でもあり、長期的な戦略関係を構築。航空券の予約・搭乗や電子チケットなどのサービスを提供する同社の「航旅縦横」の利便性は高い。
00700	テンセント	ハンセン	元	237,760 +56.5	71,510 +74.0	3,946,100	中国を代表するIT企業。チャットアプリ「WeChat」は中国人の日常に不可欠なツールとなり、決済・通話・音楽・映像を含む各種機能は幅広く普及。オンラインゲームの最大手で、ネット広告なども主要な収益源に成長。AIなど最新IT技術に強みを持ち、国内外の幅広企業に投資。電子書籍事業の閲文集団（00772）は17年にスピンオフ上場した。
00799	IGG	香港その他	米ドル	607 +88.5	156 +114.9	14,706	シンガポールに本拠を置くオンラインゲームの開発運営会社。自社開発したMMORPG（多人数同時参加型オンラインロールプレイングゲーム）の「衆神之戦」（GodsWar）などがヒット作品。「微信」（WeChat）などを通じてスマホユーザーにゲームを提供している。
00861	神州控股	香港その他	香港ドル	13,247 +8.1	▲413 赤字	7,933	民営のIT企業。中核子会社の神州数碼信息（000555）はITサービスを担い、ビッグデータ解析やネット最適化で競争力を強化。同社本体では広州市でのスマートシティ関連事業や健康医療ビッグデータの解析企業への投資を行う。一方で理財商品の損失などで17年に赤字に転落した。
01357	美図公司	香港その他	元	4,527 +186.8	▲197 赤字	32,858	スマホ用アプリの開発に強みを持つ新興IT企業。同社開発の写真補正アプリ「美図秀秀（Meitu）」などは中国で幅広い人気を誇り、18年2月の月間アクティブユーザー数は4.5億人に達する。さらに自撮り機能を重視した自社製スマホの販売事業も主要な収益源となっている。
03888	金山軟件	香港その他	元	5,181 +35.2	3,202 黒転	35,099	民営のソフト会社。ゲーム、アプリソフトの大手で、中華圏での知名度は高い。雷軍・主席はスマホ大手「小米」の創業者としても知られる。クラウド・ビッグデータを戦略分野に定め、中国のデータサービス大手に出資。オフィス向けソフト子会社の北京金山弁公軟件のA株上場を計画中。

コード	社名	分類	通貨	売上高 増収率	純利益 増益率	時価総額	コメント
000938	紫光	深センA株	元	39,071 +41.0	1,575 +93.3	81,925	理系トップ大学「清華大学」系のITサービス大手。IT設備の卸小売・サプライチェーン支援なども手がける。クラウドを成長戦略の柱に位置付け、米HP社からH3Cテクノロジーズを買収。合弁会社の設立を通じてサーバー、記憶装置の分野を強化するなど、クラウド事業の拡大に注力。
000977	浪潮電子信息	深センA株	元	25,488 +101.2	428 +49.0	36,094	山東省政府系のIT大手「浪潮集団」の中核企業。主力のX86サーバーの出荷台数は国内首位、世界でも3位に入る。クラウド、AIなど次世代ITに対応したサーバーの開発に注力。国内を基盤に海外展開を加速する。浪潮ソフト（600756）、浪潮国際（00596）とは兄弟会社の関係にある。
002065	東華軟件	深センA株	元	7,290 +12.6	664 ▲26.2	34,663	北京市に本拠を置くIT企業。システム・ソフト開発やIT技術サービスなどを手がけ、金融機関、電力・エネルギーなど幅広い業界に顧客を持つ。特に医療分野に強く、全国で約500の医療機関にサービスを提供。医療IT分野の強化に向け、テンセントを実質的な大株主に迎えた。
002230	科大訊飛	深センA株	元	5,445 +64.0	435 ▲10.3	89,039	大学発のベンチャーで新興のIT企業。英文社名は「iFlytek」。AIを駆使した音声・言語・画像認識技術で中国トップクラス。音声認識ソフトを含む応用製品・システムなどを提供する。政府の支援を受けて汎用型・特化型AIの研究に注力し、開発者向けオープンプラットフォームも運営する。
002268	衛士通	深センA株	元	2,137 +18.8	169 +8.5	24,446	中央政府系の情報セキュリティ会社「中国網安」の傘下にある上場プラットフォーム。セキュリティソフトの分野で国内大手に位置し、同業でいち早く上場した。親会社がアリババのクラウド子会社と共同開発するネットセキュリティサービス「網安飛天」は18年末にもリリースの予定。
002280	聯絡互動	深センA株	元	12,345 +927.7	65 ▲81.6	15,649	浙江省杭州市に本拠を置く民営のIT企業。従来は「アンドロイド」ベースのスマホ用OS「聯絡OS」の開発・提供が主力事業だったが、M&Aを経てEコマースに転換。北米最大級のIT製品のEコマース業者「Newegg」を買収した。買収後は「Newegg」を基盤に中国での事業拡大を目指す。
002405	四維図新	深センA株	元	2,156 +36.0	265 +69.4	35,215	検索サイト、スマホ、SNS、カーナビなどに表示される電子地図の作成・配給の国内最大手。電子地図を活用した総合地理情報サービスも展開。「IoV」（自動車のネット化）や自動運転分野の強化を掲げ、国内大手の車載用ICメーカーを買収。テンセントが大株主として出資する。
002558	巨人網絡	深センA株	元	2,907 +25.1	1,290 +20.7	57,622	民営のPCオンラインゲーム大手。MMO（多人数参加型オンライン）RPGの「征途」が代表作。ここ数年はモバイルオンラインゲームの収入が拡大中。モバイルゲーム事業の拡大に向けイスラエルのプレイティカ買収を進めているが、当局の審査などが難航。早期の買収完了が期待される。
002640	跨境通宝	深センA株	元	14,018 +64.2	751 +90.7	31,824	山西省の民営企業。アパレル事業が主力だったが、14年に越境ECサイト「環球易購」の運営会社を買収し、Eコマースに切り替わった。越境ECを戦略分野に位置付け、B2Cの輸出業務を展開。「環球易購」傘下の「Zaful」、「Rosegal」はアパレル越境ECの有力サイトに成長した。
600100	同方	上海A株	元	25,989 ▲4.4	104 ▲97.6	35,567	「清華大学」系のIT企業。各種ITソルーションの提供や法人向けIT機器の生産販売を手がける。スマートシティ・省エネシステムの構築なども展開。医療ITを戦略分野に掲げる。多額の売却益の反動で17年は大幅減益となった。同方泰德（01206）、同方友友（01868）などに出資。
600570	恒生電子	上海A株	元	2,666 +22.9	471 +2,476.2	41,643	中国を代表する民営のフィンテック企業。ネット通販大手アリババの馬雲氏が実質支配する。主力事業は金融系ソフトウエア・ITシステムの開発で、銀行・証券・保険・ファンドなど各分野で国内有数のシェアを持つ。規制強化や取引量拡大によるシステムの更新需要が追い風となろう。
600588	用友ネット	上海A株	元	6,344 +24.1	389 +97.1	54,207	財務管理、顧客管理、EPRを含む企業向け分野で、中国を代表する民営ソフト会社。中国トップ500社の多くと取引関係にある。近年はモバイル、クラウド、ビッグデータ、SNSなどと連携した事業を展開。決済を含む金融分野にも進出した。新規事業の成長性に注目。

※売上高・純利益などはすべてブルームバーグ提供の数値であり、当社HPと異なる場合がある。阿里健康（00241）は18.3期、それ以外はすべて17.12期、単位は百万。
※時価総額は18年6月13日の終値に基づきブルームバーグから算出、単位は百万HKドル。換算レートは1元＝1.2HKドル。

◆注目されるトピックス　～次世代 IT で中国市場の成長余地は大きい～

次世代 IT 技術で先行する中国：

IoT、AI、ブロックチェーン、クラウド、ビッグデータ、フィンテックを含む次世代 IT は世界的に有望市場とみられ、とりわけ世界最大の IT 人口を抱える中国市場の成長余地は大きい。さらに社会の急速な

IT 化と起業熱の高さ、裾野が広い IT 産業、豊富な人材や政策支援、強い資金力といった優位性を持ち、中国はこの分野で世界を先行する可能性もある。今後も「BAT」の百度、アリババ、テンセントを中心に次世代 IT への投資や研究開発が活発となり、技術力などで優位に立つ IT 企業の競争力は一段と高まろう。特に AI は最注目分野といえ、中国勢の台頭も目立つ。政府も AI 発展計画を掲げ、30 年までに 1 兆元、関連分野を含めれば 10 兆元規模の市場形成を目指す。

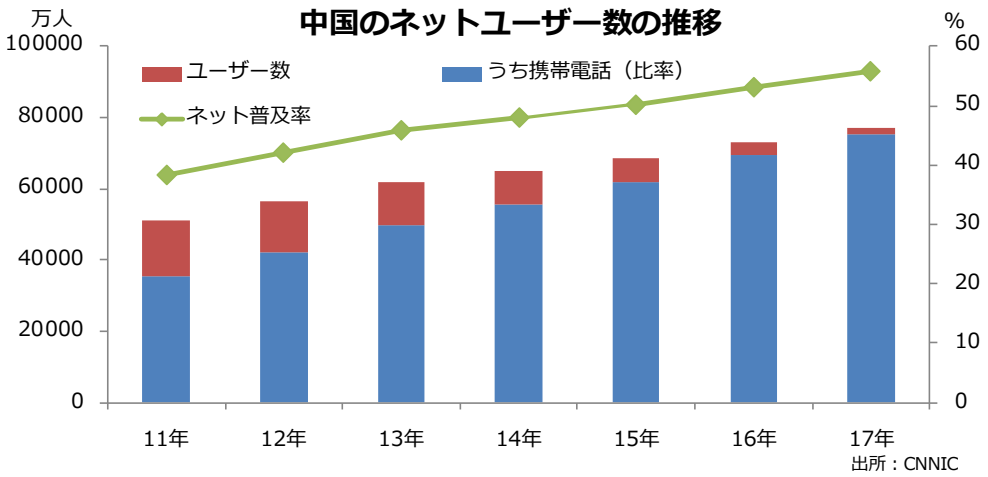
5G サービスの開始とスマホの高機能化が追い風に：

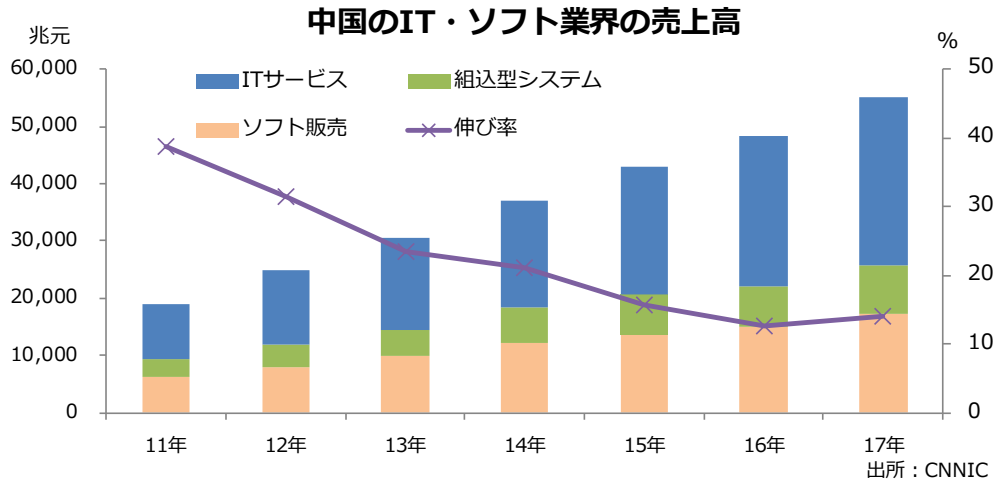
IT 産業の中核インフラである通信技術について、中国は 18 年末にも世界に先駆けて 5G サービスを始める見通し。これにより通信能力は飛躍的に向上し、スマホの高機能化も進む見通し。中国社会の IoT 化には大きな追い風となり、IT 企業のビジネスチャンス拡大に繋がろう。スマホを中心に家電・家具や自動車、住宅などをネットで結ぶスマート化が進むとみられ、IT システム構築需要の拡大、各業界の大手と IT 企業との提携・M&A などが増える見通し。

中国 IT 大手の本土・香港 IPO に注目：

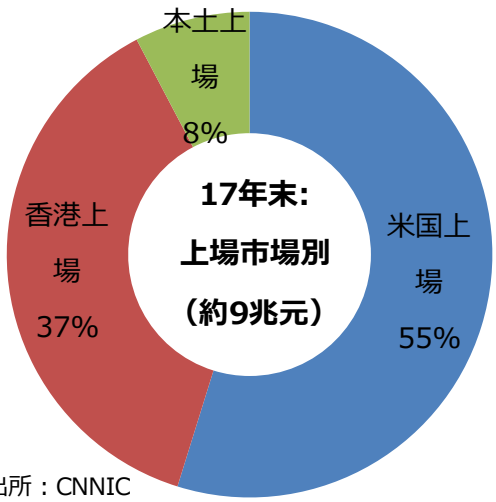
中国の主要ネット企業は本土、香港、米国の 3 市場に上場。時価総額では米国が全体の 5 割以上を占め、米国のハイテク株の動向は中国 IT 業界にとって重要といえる。一方で本土・香港の上場比率の低さは議決権種類株式をこれまで認めてこなかったことが主因だが、規則変更により香港はすでに一定条件下で IPO が可能に。本土でも CDR（中国預託証券）方式での上場が実現する見通しだ。本土・香港の両証取とも米国上場の有力企業、さらにユニコーン企業（企業評価額 10 億米ドル以上の未上場企業）への上場誘致を強化。アリババ、百度などの米国単独上場の IT 企業、アリババの金融事業を統括するアント・フィナンシャル、ライドシェア最大手の滴滴出行を含む未上場企業をめぐる IPO の動向が注目されよう。

（中国部　畦田）



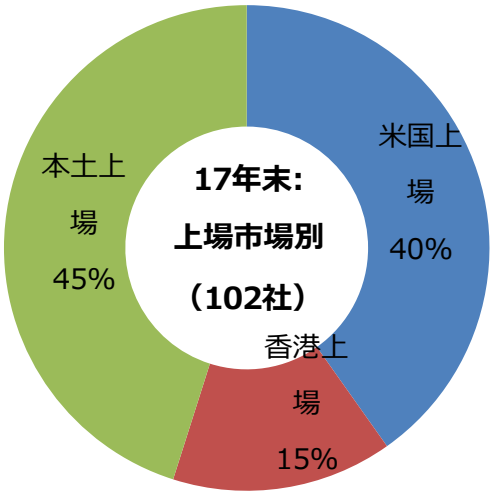


中国ネット企業の時価総額内訳

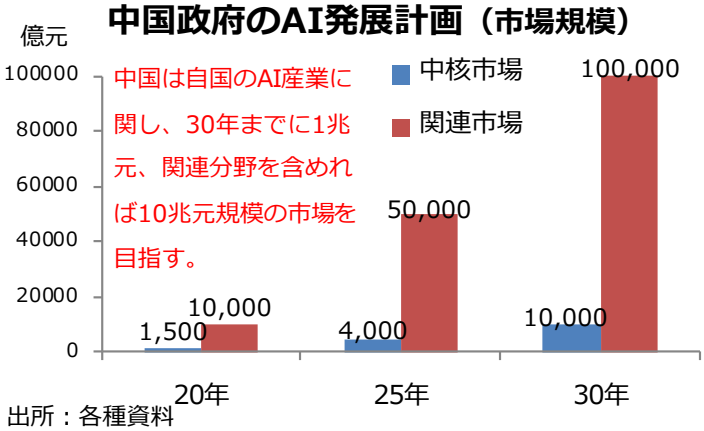


出所：CNNIC

中国ネット企業の上場企業数内訳



中国政府のAI発展計画（市場規模）



出所：各種資料

中国のAI発展計画のコンセプト

「人・モノ・カネ」への重点支援を通じ、AI競争力の確立（AIの基礎理論の研究、共通の中核技術の確立、新たな研究プラットフォームの設立、人材育成の支援等）、AI経済圏の設立（AIの各産業への応用と各産業のスマート化を支援、リーディング企業の育成）、AI関連の法体制の整備、国家重要プロジェクトの実施などを進める。

中国の「AI投資価値企業」100強の分野ごと上位5社

	AI総合		音声認識		視覚認識		サービス型ロボット
1	百度（BIDU）	1	科大訊飛（002230）	1	曠視科技（Face++）	1	科沃斯
2	アリババ（BABA）	2	雲知声	2	海康威視（002415）	2	優必選
3	テンセント（00700）	3	思必馳	3	商湯科技	3	機器人（300024）
4	京東商城（JD）	4	出門聞聞	4	格靈深瞳	4	未来夥伴機器人
5	搜狗（中国の検索大手）	5	智臻智能(834869)	5	雲従科技	5	智臻智能(834869)
	自動運転		金融		交通		医療
1	馭勢科技	1	アント フィナンシャル（アリババ傘下）	1	四維図新（002405）	1	衛寧健康(300253)
2	蔚来汽車	2	益盟股フン（832950）	2	高德軟件（AMAP）	2	華大基因(300676)
3	図森未来	3	鵬元征信	3	超図軟件（300036）	3	翼展科技
4	Minieye	4	騰訊征信（テンセント傘下）	4	凱立德(430618)	4	碳雲智能
5	縦目科技（870816）	5	量化派（QuantGroup）	5	滴滴出行（中国版Uber）	5	柏恵維康

出所：中国人工智能産業創新連盟

中国ネット市場のユーザー数（万人）

項目	16年	17年	増加率	コメント	代表企業
携帯電話でのネット利用者	69,531	75,265	8%	接続手段は圧倒的にスマホ。各種のITサービスはスマホ仕様が前提となる。接続料は通信大手の主要な収益源。	中国移動（00941）、中国聯合網絡通信（600050）等
ネットショッピングの利用者	46,670	53,332	14%	Eコマースは市民生活に深く浸透。アリババを含むEC業者に加え、EC業者を支援する各種サービスも発展。	アリババ（BABA）、南極電商（002127）等
ネット決済利用者	47,450	53,110	12%	Eコマースの普及でネット決済が一般的に。さらにスマホ決済が主流となり、実店舗での買い物でも広がる。	アリババ、テンセント（00700）等
ネット資産運用利用者	9,890	12,881	30%	ネット（スマホ）決済の普及はスマホでの資産運用の拡大に貢献。専用サービスの提供で金融各社の競争は続く。	中信銀行（00998）、平安保険（02318）等
ネット旅行予約者	29,922	37,578	26%	スマホで宿泊、交通手段を含む旅行の一切を手配・決済することが一般化し、旅行ブームの拡大に貢献。	携程旅行（CTRP）、中国民航信息網絡（00696）等
ネット音楽配信	50,313	54,809	9%	音楽以外にも動画・文学など多様なコンテンツをスマホに配信、楽しむことが主流に。地場系大手の独壇場。	テンセント、閲文集団（00772）、A8新媒体集団（00800）等
ネットゲーム利用者	41,704	44,161	6%	すでにPCでなくスマホが中心。人気タイトルのユーザー数は膨大で、社会問題を引き起こすほどに。	テンセント、IGG（00799）、金山軟件（03888）等
ネット教育利用者	13,764	15,518	13%	教育熱とスマホの高機能化を受け、ネット教育市場の成長余地は大きい。多くの企業が参入し、競争は激しい。	科大訊飛（002230）、拓維信息系統（002261）等
配車アプリ利用者	22,463	28,651	28%	中心のタクシー配車に加え、ライドシェア（相乗り）機能も加わるなど、利便性は一段と向上。	滴滴打車、神州専車等

出所：CNNICなど

当 社 の 概 要

商　号　等　内藤証券株式会社　金融商品取引業者　近畿財務局長(金商)第24号
本店所在地　〒541-0043　大阪市中央区高麗橋1丁目5番9号　**主 な 事 業**　金融商品取引業
資　本　金　30億248万円(平成29年3月末現在)　**設 立 年 月**　昭和18年4月
加 入 協 会　日本証券業協会（一社)第二種金融商品取引業協会
指定紛争解決機関　特定非営利活動法人　証券・金融商品あっせん相談センター
連　絡　先　ご質問がございましたら、下記部支店までご連絡ください。

リスク等重要事項のご説明

リスクについて

〈株　式〉株価および為替相場（特に外国株式の場合）の変動等により損失が生じるおそれがあります。
〈債　券〉債券は市場金利の動向や発行者の信用状況等によって価格が変動するため、損失を生じるおそれがあります。さらに外国債券は為替相場の変動などにより損失が生じる場合もあります。
〈投資信託〉組み入れた株式や債券など、有価証券の価格変動および為替相場の動向（特に外国通貨建て有価証券等を投資対象としている場合）等により投資元本を割り込むおそれがあります。
〈株価指数先物・同オプション〉対象とする株価指数の動きにより損失が生じるおそれがあります。加えて、建て玉代金に比べ少額の委託証拠金での取引が可能であり、株価指数の変動によっては損失額が委託証拠金を上回る（元本超過損）おそれがあります（オプション買方の場合は買付代金とコストの合計額に限定されます）。

手数料について

〈株　式〉①対面取引の場合、i）国内株式は約定代金に対して最大1.15％（税抜き以下同じ、但し最低2,500円）。ii）現地委託取引による外国株式は売買金額に対し最大0.80％（但し買付け時のみ最低500円）の国内手数料をいただきます。加えて、現地手数料として米国株式で外貨約定代金の最大0.50％、香港株式で同0.25％（最低50香港ドル）、上海・深セン株式で同0.50％必要となるほか、各証券市場によってSEC Fee、印紙税や取引所税等の費用が掛かる場合があります。また、為替に関しては内藤証券が決定したレートを用います。iii）国内店頭（相対）取引による外国株式は当社提示の取引価格の中に手数料等（諸費用を含む）をあらかじめ加味しております。また為替は上記同様、当社為替レートを用います。②コールセンター取引の場合、i）国内株式は約定代金に応じて最大31,000円（最低2,500円）。ただ、月間取引回数等による割引きあり。ii）外国株式は対面取引と同様です。③インターネット取引の場合、i）国内株式は手数料プランが複数に分かれており、この欄に表示するのが難しいため、詳細は当社HP（http://www.naito-sec.co.jp/）にてご確認ください。ii）現地委託取引による外国株式は売買金額に対して最大0.40％（但し買付け時のみ最低500円）の国内手数料をいただきます。また現地手数料並びに為替レート等は対面取引と同様です。なお、インターネット取引では米国株式及び国内店頭取引による外国株式の取り扱いを行っていません。
〈債　券〉国内債券については売買委託手数料表をご確認ください。また、相対取引による外貨建て債券の売買に関しては当社が提示する価格の中に手数料等（諸費用を含む）をあらかじめ加味しております。円貨と外貨を交換する際には、外為市場等の動向をふまえて当社が決定した為替レートを用います。
〈投資信託〉商品により異なりますので、詳細は「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧下さい。
〈株価指数先物・同オプション〉i）株価指数先物は約定代金に対して最大0.08％。ii）株価指数オプションは約定代金の最大4.0％（但し最低2,500円）。

◆本資料は、公表されたデータ等信頼できると考えられる情報に基づいて内藤証券が作成し、また記載された見解等の内容は全て作成時点のもので時間の経過とともに不正確となる場合があり、過去から将来にわたって、その正確性・完全性を保証するものではありません。内容は今後予告なく変更することがあります。◆本資料に基づいた投資によって発生する損益は全てお客様に帰属します。内藤証券は、故意または重過失がない限り、責任を負いません。◆本資料により提供される情報の著作権等の知的財産権は、引用部分を除き、全て内藤証券に帰属します。お客様は、事前に内藤証券の書面による同意なく、本資料の内容及び情報を、複製、譲渡、修正、変更または転送等の行為をすることができません。

本　社　大阪市中央区高麗橋１－５－９　☎０６－６２２９－６５１１

東 日 本 地 区

東京第一営業部	☎０３－３６６６－５５４１	金沢文庫支店	☎０４５－７８０－５０２１
湘南サテライト	☎０４６６－５５－３１６１	足利支店	☎０２８４－２２－１２３４
東京第二営業部	☎０３－３６６６－７１３７	伊勢崎支店	☎０２７０－２５－３７８０
神田支店	☎０３－６３６１－９１９１	伊勢崎駅前サテライト	☎０２７０－２５－３７８０
三鷹支店	☎０４２２－７１－１２５１	焼津支店	☎０５４－６２１－１３１１

西 日 本 地 区

本店営業部	☎０６－６２２９－６９０４	和歌山支店	☎０７３－４２３－６２１１
住道支店	☎０７２－８８９－５２３６	有田支店	☎０７３７－５２－７１１０
寝屋川支店	☎０７２－８２２－６３３３	田辺支店	☎０７３９－２２－４６７８
金剛支店	☎０７２－３６５－１９０１	新宮支店	☎０７３５－２２－８１５１
橿原支店	☎０７４４－２８－４７１１	高松支店	☎０８７－８２２－０１０５

インターネット
☎０１２０－７１１０－７６
succe-s@naito-sec.co.jp

コールセンター
☎０１２０－２０－９６８０

内藤証券